の基本方針2021」及び

「経済財政運営と改革

成長戦略実行計画・成長

要求に当たっての基本的な

(令和3年

道

地域・拠点の連携確保

のための5か年加速化対

道路ネットワークによる

として以下を要望する。

等を踏まえた諸課題につい 和3年6月18日閣議決定)

「新たな成長推進枠」

要望額:3,

015億円

(1面より)

ることで、地域がそれぞれ

現等のため、三大都市圏環

迅速かつ円滑な物流の実

要望額:2,135億円

状道路等を中心とする根幹

等の抜本的な対策を含め

防災・減災、国土強靱

な道路網を重点的に整

ため事業進捗を図る必要の

図る。

《通学路の合同点検を踏ま

40

▽目指す将来像

のスパイラルが発生してい

スの設置等を、警察庁交通

|全国での設置にも取り組ん

|さくといった物理的デバイ|る「スムーズ横断歩道」の

入抑制のためのハンプや狭

物理的デバイスの一つであ

また、その一環として、

ある地域・まちを創出する (3) 持続可能で賑わいの

中で、高齢者、子供、障が 線道路ネットワークの進展 る地域・まちを創出する必 問わず人口が減少していく 要がある。環状道路等の幹 い者を含む全ての人の生活 により生まれる都市内の空 人々が誇りを持って暮らせ ・生業が持続可能で、かつ

間のゆとりを有効に活用す一がダイナミックに変化しつ一を目指す。 で良好な環境や景観等を備 全体の経済構造や競争環境 用の急速な進展など、世界 社会を目指す。 ある地域・まちを創出する き、デジタル化やデータ活 症の拡大や、カーボンニュ たスマートな社会 の工夫により、安全・安心 えた、持続可能で賑わいの (4) 時代の潮流に適応し トラルの実現に向けた動 新型コロナウイルス感染

推進し、新たな価値を創造 | 電動車の普及促進、デジタ 等に取り組むとともに、 一つある。ポストコロナ社会 するスマートな社会の実現 手続きの省力化・効率化を ル化による道路管理や行政 能エネルギーの導入拡大や 整備、新しい生活様式を踏 て、エッセンシャルワーカ の持続的な経済成長に向け 路インフラにおける再生可 まえた自転車利活用の推進 ーである物流事業者の環境 道

(要求概要)

《新たな成長推進枠につい 「令和4年度予算の概算 ○道路の老朽化対策の更な | えた交通安全対策 | 要望額:810億円

戦略フォローアップ」(令|計画的な修繕を強力に推 橋梁、トンネル、舗装等の 等の点検、診断、措置、記 T技術を活用したメンテナ 録を着実に実施。特に、こ た、橋梁、トンネル、舗装 ンスの高度化を強力に推 れまでの点検結果に基づく 進。あわせて、AI・IC 《防災・減災、国土強靱化 予防保全への転換に向け まるソフト面での対策に加 度規制や通学路の変更等に |る合同点検の結果を踏ま え、歩道の設置やガードレ 実情に対応した効果的な対 安全施設等の整備等による え、関係機関が実施する速 携し実施した通学路におけ 事故を受け、関係機関と連 ハード面での対策を適切に 組み合わせるなど、地域の した千葉県八街市での交通 ル等の防護柵などの交通 令和3年6月28日に発生

推進し、高規格道路ネット 対策プログラム」を着実に した「防災・減災、国土強 的な事業進捗見込み等を示 災害に強い国土幹線道路ネ 老朽化等に対応するべく、 ワークの整備や老朽化対策 府県における5か年の具体 め、令和3年4月に各都道 ットワーク等を構築するた る災害や急速に進む施設の 靱化に向けた道路の5か年 おける取組などを推進す る再生可能エネルギーの活 用や道路照明の省エネルギ 率化等の道路利用における 渋滞緩和や物流の更なる効 ートラルへの貢献》 化等の道路整備・管理に トラルの実現に向けて、 2050年カーボンニュ 太陽光発電等によ ▽目指す将来像 公園等おける伝承促進事業 [背景・課題] (活用技術) [提案者]

要のある事業を強力に推

)効率的な物流ネットワー

を確保。特に、計画的な整 克服し、地域・拠点の連携 クでつなぎ、距離の制約を

トな拠点を道路ネットワー

個性ある地域やコンパク

近年の激甚化・頻発化す

《2050年カーボンニュ

通環境の整備を推進する。

備のため事業進捗を図る必

する自動車運送事業者に対 する大口・多頻度割引の最 ているETC2・0を利用 右記のほか、現在実施し とともに、高齢者や障がい →5%)の効果を検証しつ により観光客の満足度向上 自動運転サービスの活用

等の支援をしていくことと している。 る実装を見据えた計画策定 ス導入を目指す市町村によ 連携して、自動運転サービ 今回、支援の対象となる 国土交通省は、内閣府と |高齢者等の生活の足の確保 に向けた検討を進める。 《提案タイトル》

保、高齢者の外出機会の増

することを目的に、国土交 | も着実に進捗している。

漁業振興や森浦湾等にお

装点検要領を策定し、国、

措置の着手・完了率が低水 2. 地方公共団体の修繕等

3. 舗装の修繕等措

・Ⅳと診断された橋梁、

着手率が低水準(国

新交の

割程度と遅れている。 の措置の着手率は、6~

通省では2016年度に舗

高齢者の生活の足の確

に向け、舗装の現状を把握 ては、今後の効率的な修繕

| 策を検討し、早急に道路交 | 市、和歌山県太地町、佐賀 |相談を受付けた、岩手県 ち、地方整備局等への事前 された地方公共団体のう 陸前高田市、岐阜県中津川 事業の手続きを経て、選定 県嬉野市となっている。 内閣府未来技術社会実装

自動運転サービスの活用に よる高田松原津波復興祈念 【事業概要】 《提案タイトル》 発展。 ▽解決すべき課題

た取り組み。 《提案タイトル) 各拠点の魅力向上に向け 交通インフラの整備効果

せを感じるまちづくり事業 和歌山県太地町 技術を活用した高齢者が幸 目動運転やドローン等未来 [活用技術] 口の減少に波及するなど負

つ、措置の必要性等につい AI、自動運転、ドローン [背景・課題]

誘致・移住者の増加によ会の創出と、関連企業等の ▽解決すべき課題 を過ごせる「ノーマライゼ ないまち」を目指す。 ションという言葉のいら **昌田松原津波復興祈念公** 誰もが生き生きと笑顔

2020年度(令和2年

国土交通省は、橋梁等の

正等を受け、2014年度

今回、2020年度まで

橋梁等の2020年度

(令和2年度) 点検結果

繕等措置の着手率は55

における地方公共団体の

修

の点検の結果、

(判定区分■) の舗装の延 2017年度以降4年間

(判定区分Ⅲ・Ⅳ)

完了率は35%と低水準

な

(2020

度

900㎞、地方公共団体: 長は、国土交通省:約5,

約8,900km

度)点検結果のとりまとめ

一梁、トンネル、道路附属物

況等を「道路メンテナンス

|より道路管理者は全ての橋 | の点検や診断結果、措置状

末時点

を公表した。

2013年度の道路法改

点検が義務付けられてい

等について、5年に1度の | 年報] としてとりまとめ

率83%·完了率42%、

高速

着手した割合は、2020

このうち、修繕等措置に

〈参考〉国土交通省:

道路会社:着手率66%

完

年度末時点で国土交通省:

地域コミュニティの形成と 課題の解決を図るととも 手段を構築することで地域 ビス等を活用し、パークガ イドと連携した新たな移動 **園内において自動運転サー** い、市内展開することで、 一まち全体博物館の実現。 いるようなまちづくり。 | 解決すべき課題

くじらの学術研究都市=

住民が公園の中に住んで

点検が完了し、2019年

る。2018年度に1巡目

1. 2巡目点検は1巡目点

了率45%

検より着実に進捗

度から2巡目点検が実施さ

また、道路の舗装につい

ネル:34%、道路附属物等 | 状況は、橋梁:38%、トン

2020年度) の点検実施

内)に措置を講ずべきな

ているが、地方公共団体に

初公開 マップ

梁は次回点検まで(5年以

4 0 km

「全国道路構造物情報

(損傷マップ) 」

公共団体:15%(約

15% (約900㎞)、

判定区分皿・Ⅳであ

2巡目(2019年度~

:40%と、1巡目点検より

|分Ⅲ・Ⅳと診断された。 おいて5年以上前に判定

超高速交通網との接続にむ る新たな人の流れ創出事業 の導入と地域拠点整備によ 岐阜県中津川市 けた自動運転ネットワーク [提案者] 新たな交流拠点の誕生を契 ける観光振興。 ロナ観光まちづくり、 機に取り組む withコ 《提案タイトル》 |-\$⊃KEWI-ZO]

実施している。

急に措置を講ずべき状態

1巡目点検で早期又は緊

|規]) |通省、地方公共団体

を地図上で閲覧できる

要領等をもとに定期点検を 地方公共団体において点検

来技術社会実装事業の手続 地方公共団体が、内閣府未

きに基づき、選定された。

【支援対象の地方公共団

▽目指す将来像 目動運転、VR/AR [背景・課題] 自動運転技術と新たな拠 運転、VR/AR、 佐賀県嬉野市 AI、IOT、5G、自動 (活用技術)

等広域交通の整備効果を市 する中山間地域での持続的 ネットワークによる集約型 内全域へ波及」と「多拠点 点の創出により、「リニア 人口減少と高齢化の進展 シュレス ▽目指す将来像 と道の駅の同時開業)を核 新たな交流拠点(新幹線駅 [背景・課題] 観光都市嬉野に誕生する 未来技術を適用・導

業の再生・新産業の創出を 流人口の増加を目指す。 た観光まちづくり、既存産入。新生活様式に 対応し 観光客の減少に伴う観光 人口減少の抑制と交 | 安全の向上を図ろうとする

おける人優先の安全・安心 として設定し、生活道路に

一沿道環境等を踏まえ、

区域を「ゾーン30プラス」

器」等の既存産業の生産性 産業の低迷が、地域の主要 また、その影響は若者の |や速度抑制・通過交通の進 推進を図ることとした。 路局では、防護柵等の設置 な通行空間の整備の更なる これまで、国土交通省道

「ソーン30プラス

キャッ

|域規制と物理的デバイスと|る。 ら、最高速度30㎞/hの区 の適切な組合せにより交通 庁交通局は、連携をしなが 国土交通省道路局と警察 現在、各地で実施中の通

ス」の整備を図っていくと しも、道路構造、交通実態、 学路における合同点検を踏 りながら、「ゾーン30プラ 域住民等との合意形成を図 まえた対策の一つとして

9月末までにスムーズ横断歩道の設置が完了する予定の地区				
	設置地区	道路管理者	設置手法*1	設置期間※2
1	北海道札幌市手稲区西宮の沢	札幌市	仮設	R3.9上旬~10上旬
2	青森県青森市北中野	青森市	仮設	R3.9中旬~11中旬
3	岩手県滝沢市室小路	滝沢市	仮設	R3.9上旬~11上旬
4	秋田県秋田市土崎港東	秋田市	仮設	R3.9中旬~11下旬
(5)	山形県山形市城北町	山形市	仮設	R3.9中旬~10下旬
6	愛知県名古屋市昭和区白金	名古屋市	仮設	R3.9下旬~11下旬
7	三重県津市久居新町	津市	仮設	R3.9中旬~10中旬
8	京都府舞鶴市桃山町	舞鶴市	本設置	R3.8下旬~
9	兵庫県明石市王子	明石市	本設置	R3.9下旬~
10	兵庫県神戸市須磨区大黒町	神戸市	本設置	R3.9上旬~
11)	奈良県奈良市法蓮町	奈良県	仮設	R3.9下旬~10下旬
12	和歌山県和歌山市木広町	和歌山市	仮設	R3.9下旬~10上旬
13	岡山県津山市山北	津山市	仮設	R3.9上旬~9下旬
14)	山口県下関市秋根東町	下関市	本設置	R3.9上旬~
15	福岡県北九州市八幡西区千代ケ崎	北九州市	本設置	R3.9中旬~
16	長崎県佐世保市浜田町	佐世保市	仮設	R3.9下旬~10中旬

17) 大分県別府市青山町 別府市 本設置 仮設に用いる「可搬型ハンプ」については、国土交通省地方整備局等から貸与する。

設置時期は、今後の天候等の状況により変更することがある。 ~ 各地の設置状況等は国土交通省のホームページへ掲載 ~ https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/anzen-zone30plus.html

R3.9上旬~

うとする区域を「ゾーン30 より交通安全の向上を図ろ 携しながら、最高速度30. 祭が検討段階から緊密に連 ハイスとの適切な組合せに hの区域規制と物理的デ 今後は、道路管理者と警

に取り組んでいくとしてい 活道路における人優先の安 全・安心な通行空間の整備 フラス」として設定し、

路の面的な交通安全対策と る低速度規制等を、生活道 して、それぞれ進めてき

元や点検結果、措置状況等 道路附属物等の諸 を初公開した。 対策状況を視覚化した情報 ける道路管理者毎の老朽化 加えて、各都道府県にお

見える化を図るため、直近 5年間の点検で判定区分■ 老朽化対策状況の更なる 道路構造物情報マッ

(損傷マップ)」を初公開

【道路メンテナンス年報】 https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/ yobohozen_maint_index.html 【全国道路構造物情報マップ ~損傷マップ~】 https://road-structures-map.mlit.go.jp/

地方 1,

【各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況】 https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/ yobohozen_maint_r02.html